

鬼怒川流域治水プロジェクト【位置図】

～平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止～

○平成27年9月関東・東北豪雨で甚大な被害が発生した利根川水系鬼怒川では、鬼怒川緊急対策プロジェクトに加え以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

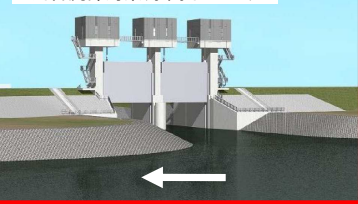
- ・侵食対策、堤防整備、河道掘削、調節池整備、河道整備、田川合流部対策、樋管改築
- ・砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)
- ・利水ダム等13ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、県、企業など)
- ・森林の整備・保全
- ・水田貯留(田んぼダム)・雨水貯留施設整備・透水性舗装・浸透枳等

■被害対象を減少させるための対策

- ・「安全なまちづくり」に向けた取組
- 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導区域設定等

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

田川合流部対策(水門イメージ)



河道掘削(宇都宮市)

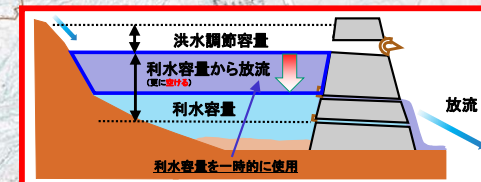
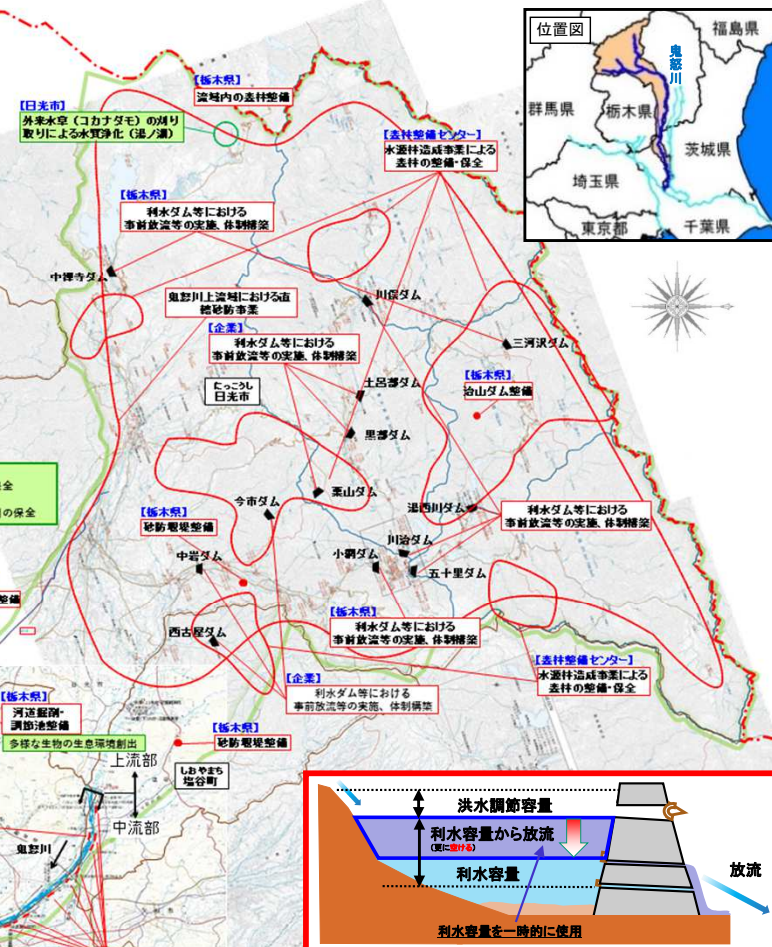


土砂災害対策

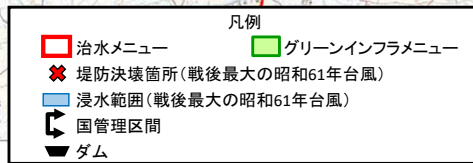
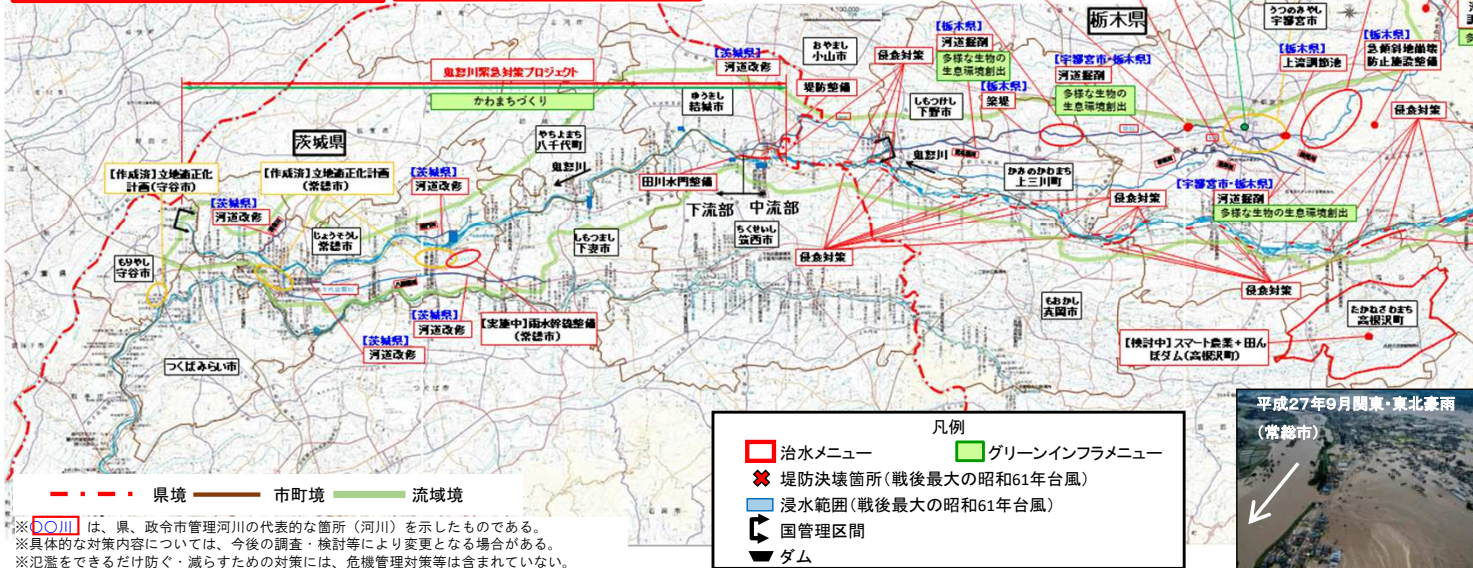


■被害軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・危機管理型水位計、簡易カメラの設置
- ・マイ・タイムライン普及促進
- ・広域避難計画の策定及び訓練
- ・ハザードマップの作成、周知
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・地域防災リーダーの育成
- ・水防災意識強化月間における集中的な普及・啓発活動の実施
- ・防災教育や防災知識の普及
- ・水防体制の強化
- ・緊急排水計画策定及び訓練
- ・水害リスク空白域の解消等



事前放流のイメージ



マイ・タイムライン普及促進



地域防災リーダーの育成

鬼怒川流域治水プロジェクト【位置図】

～平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止～

●グリーンインフラの取り組み『水辺の環境や風景を楽しみながら巡る、魅力あるサイクリングネットワーク構築による地域振興』

- 鬼怒川では、中流部の礫河原、下流部の砂河原や湿地環境等、特徴的な自然環境が見られる。治水、利水及び流域の自然環境、社会環境との調和を図りながら、河川空間における自然環境の保全と適切な河川利用の促進を図る。
- 「茨城県総合計画」では、サイクルツーリズムを含む観光振興により、観光消費額を増加させることを目標に掲げている。これに寄与できるよう、鬼怒川下流部において、概ね令和6年度までに、周辺自治体と連携したかわまちづくりの軸として、水辺の環境や風景を楽しみながら巡ることを目的としたサイクリングネットワーク構築のため、堤防整備にあわせて設置する河川管理用道路等も活用し、サイクリングロード42.3km、リバースポット19箇所の整備を進める。また中流部では地域と連携したレキ河原環境の保全活動を継続するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●健全なる水循環系の確保

- ・外来水草（コカナダモ）の刈り取りによる水質浄化

●治水対策における多自然川づくり

- ・多様な生物の生息環境創出

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

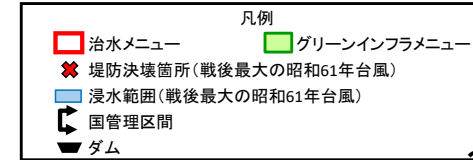
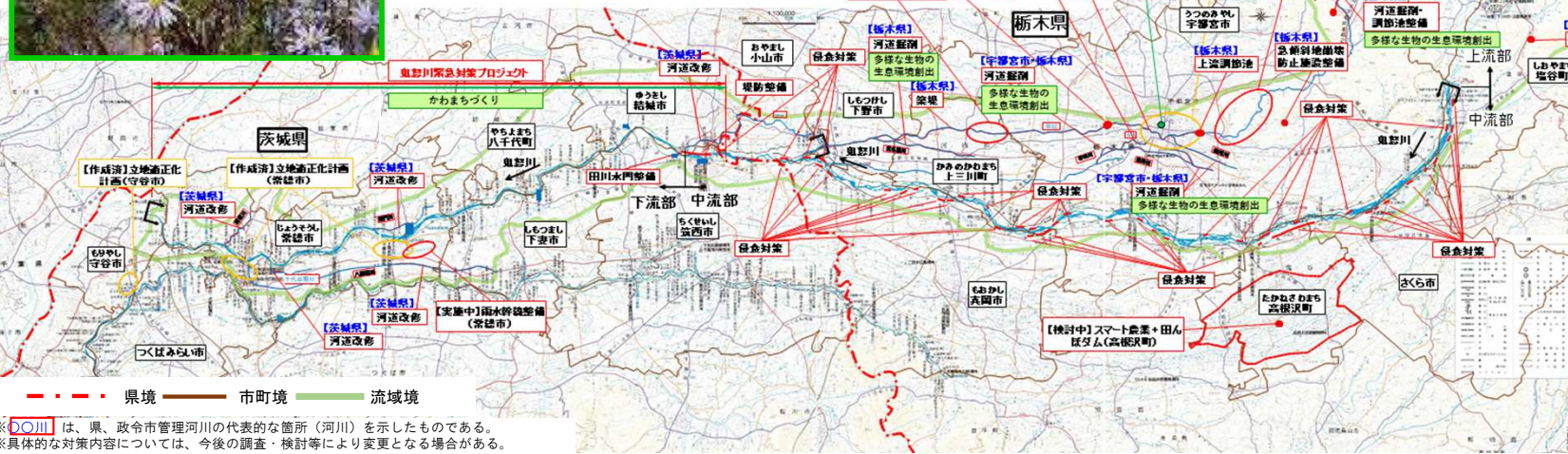
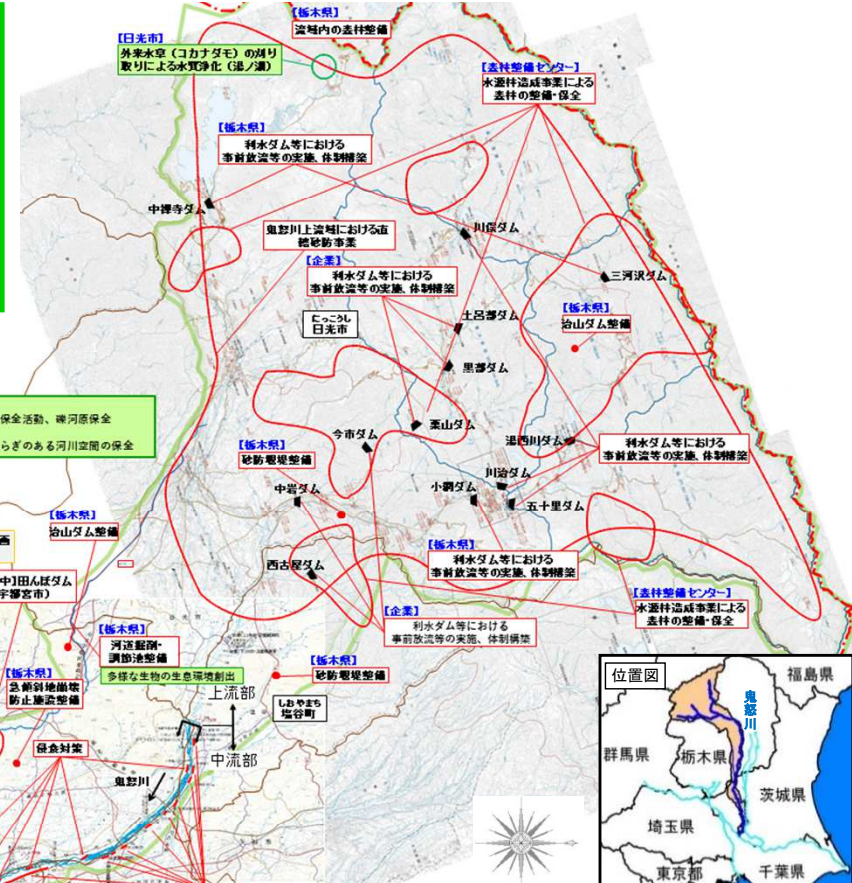
- ・かわまちづくり（鬼怒川・小貝川）
- ・釜川を活用したイベント実施

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・地域と連携したカワラノギク等の保全活動、礫河原保全
- ・民間協働による水質調査



かわまちづくり
(サイクリングロード常総市区間
開通セレモニー: R1年9月23日)



※「〇〇川」は、県、政令市管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。

鬼怒川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止～

●鬼怒川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止のため、鬼怒川緊急対策プロジェクト及び田川合流部対策を重点的に実施。
安全なまちづくり(立地適正化計画に基づく防災指針の検討等)の策定

【中期・中長期】断面不足となっている樋管改築及び堤防の洗堀を防止するための侵食対策を実施。
内水被害軽減対策(雨水貯留施設の新設等)等の流域における対策、タイムラインの活用等を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・河道掘削 等 (鬼怒川緊急対策プロジェクトを含む)	下館河川事務所・茨城県	鬼怒プロ完了	樋管改築完了	
	樋管改築(樋管上下流の築堤含む)	下館河川事務所			侵食対策完了
	中流域の侵食対策	下館河川事務所			
	田川合流部対策、支川田川河道改修	下館河川事務所・茨城県		田川合流部対策完了	支川田川改修完了
	支川の河道掘削、調節池整備 等	栃木県・茨城県			
	砂防堰堤等の整備、事前放流等の実施 (いのちとくらしを守る土砂災害対策)	日光砂防事務所・鬼怒川ダム統管理事務所・栃木県		砂防堰堤等の整備	
	森林の整備・保全、治山対策	森林整備センター・栃木県			
	水田貯留(田んぼダム)・雨水貯留施設整備・透水性舗装・浸透枳 等	宇都宮市・小山市・真岡市・さくら市・下野市・上三川町・塩谷町・高根沢町・結城市・下妻市・常総市・守谷市・筑西市・つくばみらい市・八千代町			
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取組 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導区域設定	(作成済)宇都宮市・日光市・真岡市・下野市・下妻市・常総市・守谷市・つくばみらい市 (作成中)結城市・筑西市	立地適正計画策定(結城市、筑西市)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	マイ・タイムライン普及促進・ハザードマップ作成、周知・地域防災リーダーの育成・防災教育や防災知識の普及 等	下館河川事務所・栃木県・茨城県・宇都宮市・日光市・小山市・真岡市・さくら市・下野市・上三川町・塩谷町・高根沢町・結城市・下妻市・常総市・守谷市・筑西市・つくばみらい市・八千代町			
グリーンインフラの取組	外来水草(コカナダモ)の刈り取りによる水質浄化	奥日光清流清湖保全協議会(日光市・栃木県等)、地域住民			
	多様な生物の生息環境創出	栃木県		河道掘削	
	かわまちづくり	下館河川事務所、かわまちづくり協議会(筑西市・結城市・八千代町・下妻市・常総市・つくばみらい市・守谷市)	サイクリングロード、リバースポット整備		
	釜川を活用したイベント実施	宇都宮まちづくり推進機構(宇都宮商工会・宇都宮市等)			
	碓河原保全	下館河川事務所		砂州除去、外来種除去	
	地域と連携したカワラノグク等の保全活動	地域住民			
	民間協働による水質調査	下館河川事務所、沿川住民			

■河川対策
全体事業費 約68.6億円
対策内容 堤防整備、河道掘削、樋管改築、田川合流部対策等

■砂防対策
全体事業費 約6.68億円
対策内容 いのちとくらしを守る土砂災害対策等

■下水道対策
全体事業費 約11.9億円
対策内容 雨水貯留施設整備等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※■■■■■:対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

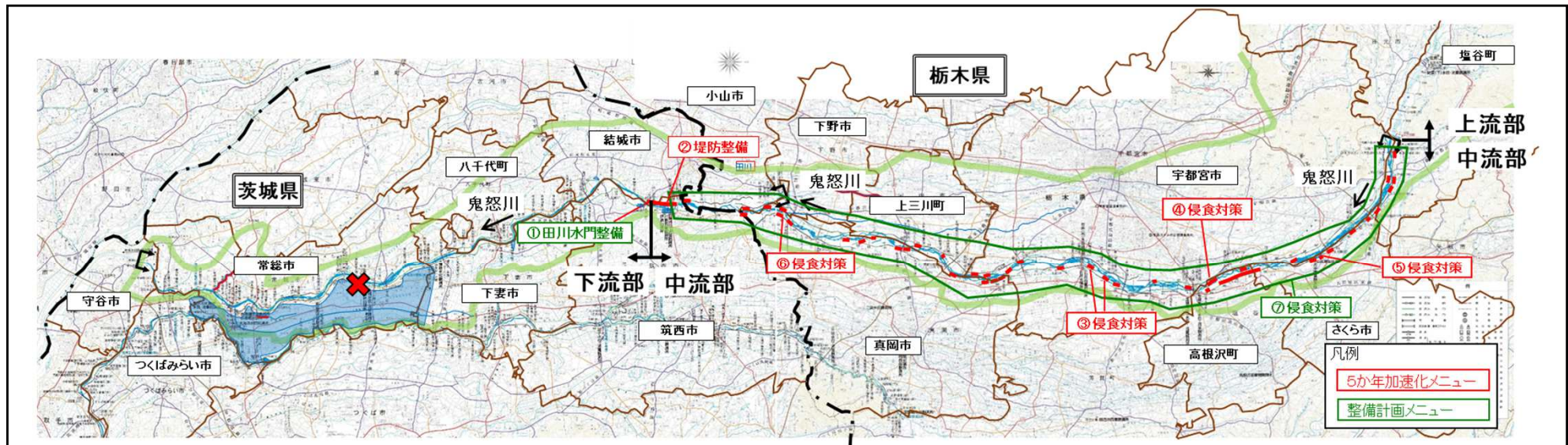
鬼怒川流域治水プロジェクト

～平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止～

進捗と効果(R4.3版)

○鬼怒川緊急対策プロジェクトのR2年度完成に伴い、平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水による再度災害の防止が可能。
○田川水門が令和7年度までに完成することで、田川への逆流による氾濫が防止されるほか、樋管改築及び侵食対策の実施により整備計画目標流量を安全に流下させることが可能。

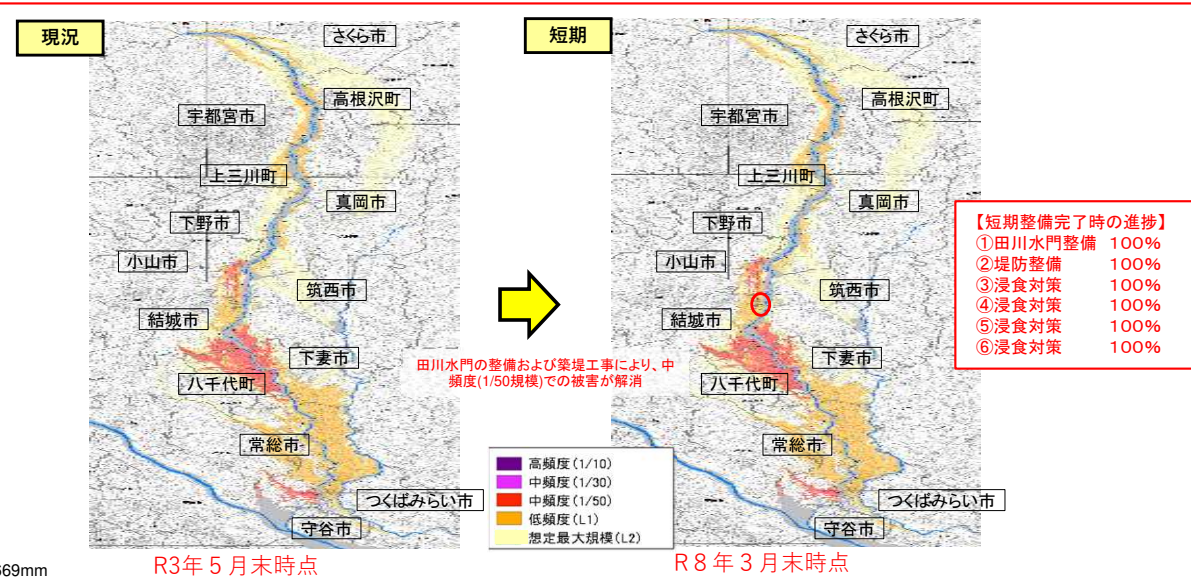
短期整備(5カ年加速化対策)効果：河川整備率 約71%→約100%(整備計画規模)



対策内容	区間	工程		
		短期	中期	長期
①田川水門整備	中流部	R3	100%	
②堤防整備	中流部		100%	
③侵食対策	中流部	100%		
④侵食対策	中流部	100%		
⑤侵食対策	中流部	100%		
⑥侵食対策	中流部	100%		
⑦侵食対策	中流部			100%

注：洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)に基づき、鬼怒川(直轄管理区間)が氾濫した場合に、浸水深が0cmより大きい浸水範囲をシミュレーションにより予測したものである。
注：想定最大規模については、平成28年8月に公表した洪水浸水想定区域図である。
注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
注：国直轄事業の実施によるものであるが、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

算出の前提となる降雨
鬼怒川流域の3日総雨量
高頻度(1/10):317mm 中高頻度(1/30):403mm 中頻度(1/50):442mm 低頻度(1/100):495mm 想定最大規模:669mm



鬼怒川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～平成27年9月関東・東北豪雨規模の洪水に対する再度災害防止～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率



(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



(令和〇年〇月時点)

流出抑制対策の実施



(令和〇年〇月時点)

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策



【集計中】

砂防事業による保全箇所
〇〇施設
(令和〇年〇月時点)

立地適正化計画における
防災指針の作成



(令和〇年〇月時点)

水害リスク情報の提供



内水浸水想定
〇〇団体
(令和〇年〇月時点)

高齢者等避難の実
効性の確保



個別避難計画
〇〇市町村
(令和〇年〇月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

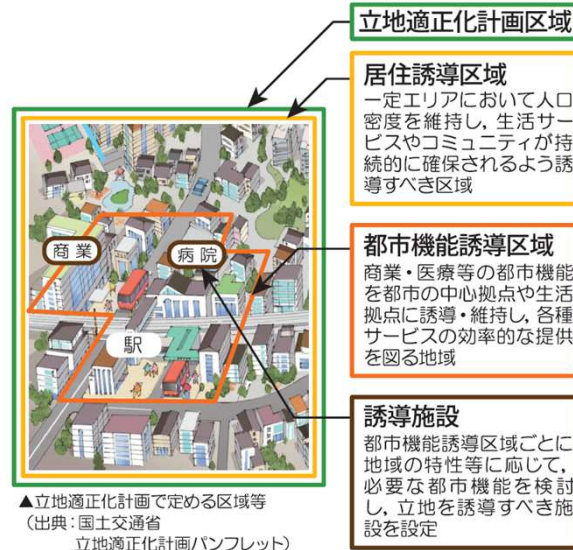


○農耕地の対策メニューとして水田貯留の「田んぼダム」がある。鬼怒川では複数の市町において導入及び検討が進んでいる。

【令和3年度の実績】

- ・宇都宮市で約454haを追加予定
- ・小山市で約300haを追加予定
- ・上三川町で施工中
- ・今後実施に向けて検討の開始を決めた地方自治体が3箇所(常総市、筑西市、市貝町)

被害対象を減少させるための対策



○居住誘導区域等を定め、住民の居住エリアを誘導する施策である。鬼怒川では複数の市町において導入及び検討が進んでいる。

【令和3年度の実績】

- ・常総市において計画をR3. 11. 1に公表
- ・日光市において計画をR3. 4. 1に公表
- ・今後実施に向けて検討の開始を決めた地方自治体が1箇所(筑西市)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



スキルアップ講座の様子

講師→



○下館河川事務所において「マイ・タイムラインリーダー スキルアップ講座」(web会議方式)を令和3年度に開催した。当日は、マイスター2名を含む47名の参加者に対して、「リスクの見える化」について説明した。その他に「リーダー認定講座」を八千代町で、「マイ・タイムライン作成講座」を筑西市で実施した。



八千代町